

2015年10月12日

もやもや病班会議議事録 ホテルさっぽろ芸文館 8階グランシャトー 12:00～

1) AMORE 研究の進捗状況 (富山大学 黒田敏)

2012年1月1日から2015年9月30日までで、登録症例数は100例となっている。

登録は予定通り今年の12月31日に終了する。

登録症例の年齢分布はこれまで報告されてきたものと、あまり変わらない。

主要評価項目として、脳出血が1例、副次評価項目としてTIAが4例発生している。

2) COSMO-JAPAN、SUPRA Japan 研究について (京都大学 高木康志)

COSMO-JAPAN

10月16日現在の登録は22例。登録症例を増やすため、登録期間を1年延長し、2016年

12月31日とする。

SUPRA Japan

目標症例数は70例に設定。登録はまだ開始されていないが、期間は2年の予定。

各大学の倫理委員会の審査に必要な書類を、今後送付予定。

3) もやもや病ガイドライン改訂と MODEST 研究に関して (東北大学 藤村幹)

MODEST 研究

東北大学にて倫理委員会の審査は修了し、近日中に各大学での審査に必要な書類を送付する。目標症例数は 50 例で登録期間は 3 年間。

もやもや病ガイドライン改訂

RNF213 の同定、JAM 研究の結果、診断基準の改訂などの内容をふまえる。追加論文のみ構造化抄録作成が必要。Chapter ごとの執筆担当者の提示。1 年半くらいでの完成を予定。

4) JAM 研究について (京都大学 舟木健史)

サブ解析 1

A 群に対し、P 群は出血に関して予後が不良かつ手術効果が高い。

現在、投稿論文の revision 中。

サブ解析 2

なぜ P 群で上記のような結果になるのかを検討するため、脳血管撮影画像を詳細に検討している (LSA type、thalamic type、choroidal type に分類)。

予後研究としてエンドポイント発生後も、follow up を継続していく。